風早中学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

(「学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」[Ver.10](#)をふまえて)

生徒指導部

○家庭での健康観察

- ・毎朝、自宅で体温を測定することを習慣にし、自身の健康状態の把握に努める。
- ・生徒や同居家族が感染したとき、濃厚接触者に特定されたとき、またはPCR検査を受けることになったときは、学校に連絡をする。
- ・生徒がPCR検査を受ける場合は、検査の結果が判明するまで、登校は控えてもらう。

○学校での健康観察

- ・登校時に健康状態について確認する。(健康観察票の確認は不要)
- ・体調不良者を確認したときは、保護者に連絡をし、安全に帰宅させる。
- ・来校者に対しても手洗い、手指の消毒等の感染症対策を徹底してもらう。
- ・各教室に手指の消毒用にアルコールを設置し、常時使用できるようにしておく。
- ・各クラスで使用する手洗い場やトイレを指定し、密集を避ける。
- ・学校生活を安全に送るうえで、手洗いを徹底し、清潔なハンカチやタオルで拭く。あくまで、手指の消毒は補助的に使用するものとする。

○日常的な感染症対策

- ・大勢がよく触れるドアノブや手すり、スイッチなどは1日1回、水拭き後に消毒液を浸した布巾で拭く。
- ・床、机、椅子、トイレ、洗面所などは、通常の清掃活動の範囲で清掃する。(特別な消毒作業は必要としない)
- ・器具や用具や清掃道具などの共有物は、使用都度の消毒を行うのではなく、使用前後に手洗いを徹底するようにする。
- ・教室等は、可能な限り、常時2方向の窓やドアを同時にあけて換気を行う。なお、エアコン使用時であっても換気は必要。
- ・窓のない部屋では、常時入口を明け、換気扇や扇風機を用いて、部屋の外に空気が流れるようにする。

○集団感染リスクへの対応

- ・可能な限り3密(密閉・密集・密接)を避ける。
- ・換気の徹底を行う。教室等は、可能な限り常時、2方向の窓や扉を同時に開けて換気を行う。また、廊下等も開放し、エアコンを使用しているときも換気をする。
- ・窓のない部屋では、常時入口を開けておき、換気扇等で部屋の外に空気が外に流れるようにする。
- ・常時換気が難しい場合は、30分に1回以上、数分間程度、窓を全開にする。
- ・冬季は、換気による室温低下で健康被害が生じないように、暖かい服装を心がけるように指導する。校内での防寒具の着用には柔軟に対応する。

○各教科の活動等

- ・教室の換気を徹底する。
- ・可能な限り個人の教材教具を使用し、生徒同士の物の貸し借りはしない。
- ・器具や用具等、共有物を使用する場合は、使用前後に適切な消毒や手洗いを徹底する。

○部活動

- ・**基本的には、「各教科の活動等」と同様の対策を実施する。**
- ・活動開始前に健康観察を実施し、体調不良者を確認した際は、保護者に連絡して安全に帰宅させる。
- ・活動前後の手洗いを徹底する。
- ・会場への移動時や昼食時、会場での更衣やミーティング等の主活動以外の場面でも3密を避けるなど、感染症対策を講じる。
- ・**部活動前後での集団での飲食をする場合は、換気を十分に行い、一定の距離を確保する。この条件が確保できない場合は、飲食は控える。**

○給食

- ・生徒は給食前に必ず手洗いを徹底し、手洗い場が密集しないように工夫する。
- ・飛沫飛散感染防止のため、食事時は原則として机を向かい合わせにしない。また、大声での会話は控える。

○休み時間

- ・教室等の窓や扉を大きく開放し、十分な換気を行う。
- ・トイレや流しはクラス別に使用する場所を指定するなど、異なる学年・学級が共有する機会を可能な限り減らす。
- ・トイレはよく換気し、ふたのあるトイレの場合は、ふたを閉めてから水を流す。